

競 技 者 注 意 事 項

暑熱対策として日本陸上競技連盟より示された指針に基づき、本大会の開催および進行を決定いたします。熱中症特別警戒情報、熱中症警戒情報および暑さ指数（WBGT）によって、大会を中断または中止する場合があります。

1. 本大会は2025年度日本陸上競技連盟規則、及び大会競技注意事項によって行う。競技規則 TR16.5.1-3 などにより累積2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場を妨げない。

2. 招集方法

- ◇ トラック競技、フィールド競技（棒高跳を除く）とも、選手の招集は招集所において行う。（100m スタート後方寄り・競技場レイアウト参照）
- ◇ 招集の時刻は、競技開始時刻を基準として下記の通りとする。

競技種目	招集開始時刻	招集終了時刻	場 所
トラック競技	30分前	20分前	招集所
フィールド競技 (棒高跳を除く)	40分前	30分前	招集所
棒 高 跳	60分前	50分前	現地（競技場所・ピット）

- ◇ リレーのオーダー用紙は第1組の招集完了時刻の60分前までに、招集所（競技者係）へ提出する。オーダー用紙は招集所（競技者係）及び、本プログラムの最終ページに用意してある。
- ◇ 招集は本人のみで行い、代理人によるものは認めない。ただし種目を兼ねて出場する者で同時に2種目行われる者は、その旨を競技者係及び審判員に申し出て、競技の進行に支障の無いようにすること。

3. 競技方法

- ◇ トラック競技のレーン順（800m以上）は上から下で行う。
- ◇ 靴底の厚さについては、TR5 及び「競技用靴に関する規程」に準じる。規定を超える靴での出場は認めない。使用された靴に関して審判長が疑義を抱いた場合、競技終了後に提出を求めることがある。
- ◇ 中学男女800m決勝 TR のスタートはオープンレーンで行う。高校男女800mの決勝 TR のスタートはセパレートレーンで行う。（場合によって1つのレーンに2名入ることがある）
- ◇ トラック種目は写真判定装置を使用して決勝進出者を決定する。同記録の場合は写真を拡大して判定し、それでも判定できない場合は抽選を行う。
- ◇ すべてのリレー種目のオーダーは TR24.10 を適用する。
- ◇ リレー種目では、チームで同一のユニフォームを原則とする。形が不揃いでもよいが、同一色にすること。
- ◇ フィールド競技の試技順はプログラムに示した左側の上から下へ、次に右側の順に行う。
- ◇ 走高跳のバーの高さおよびバーの上げ方は下記の通りとする。

種 目		練習	バーの上げ方								
中 学	男子	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	以後最後の1人になるまで3cmきざみ
	女子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	
高 校	男子	1m50	1m55	1m60	以降1m85 まで5cmきざみ		1m88	1m91	1m93	1m95	以後最後の1人になるまで2cmきざみ
	女子	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	以後最後の1人になるまで3cmきざみ

※練習の高さおよび最初の高さについては、天候の条件や出場選手の状況により変更する場合がある。

- ◇ 中学男女棒高跳、高校男女棒高跳の練習の高さおよびバーの上げ方は、現地（ピット）で決定する。
- ◇ 高校女子三段跳の踏切線は、砂場から9m地点に設定する。
- ◇ 競技に使用する用器具は、競技場備え付けのものを使用する。ただし、持参した用具の使用を希望する者は、検査を受け許可されたものなら使用できる。
- ◇ 砲丸の重量は下記の通りとする。

種 目	重 量
高校男子	6.000kg
高校女子	4.000kg
中学男子	5.000kg
中学女子	2.721kg

- ◇ アスリートビブス（最大16cm×24cm）は各自で用意し、胸・背部に確実につけること。ただし、跳躍種目は片方だけでよい。（走幅跳は胸に取り付けることが望ましい）
- ◇ サイドビブス（最大12cm×18cm）
予選と決勝タイムレース[決勝TR]はスタートリストを確認して各自で作成し使用すること。高校男女の4×400mRは2走、3走も作成、準備すること。（2枚取り付けること）。（予選ラウンド後の）決勝においては、招集の際に招集所（競技者係）で配布する。

4. 得点・表彰

- ◇ 得点 1位＝8点 2位＝7点……8位＝1点 とする。 ※オープン種目は得点の対象としない。
- ◇ 表彰 個人：1位～3位に賞状と記念品を、4位～8位に賞状を授与する。各自で表彰係まで取りに来ること。
優秀選手賞： 優秀選手を決定し、大会最終日に表彰する。
総合：1位の学校には賞状と優勝杯を、2位～8位の学校に賞状を授与する。

5. 競技場のウォームアップについて

- ◇ 周回競技時を除いて第2コーナーから第3コーナーまでをウォーミングアップエリアとする。
- ◇ ウォーミングアップエリアへの移動の際は、競技の妨げとならないように注意すること。
- ◇ ウォーミングアップの実施にあたっては、審判・役員の指示に従うこと。
- ◇ ウォーミングアップエリアでの応援は禁止する。
- ◇ ハードルの練習時間は以下のように定める。

日付（種目）	練習時間（場合によって変更されることがある）	
20日（400mH）	11:30～12:30	
21日（100mH/110mH）	8:15～8:45	10:50～12:00（バックストレートに設置）

6. 応援について

集団応援は、メインスタンド以外の中段通路より上方で行うこと。その際、フィールド競技等他の競技に配慮すること。また、個々の応援についても他の競技に十分配慮し行うこと。

7. その他

- ◇ 引率教員がいない場合、大会への出場ができない。 監督権は当該校の教員のみが有する。
- ◇ 学校受付（プログラムの配布）は、第1日目の8時から8時45分までフィニッシュゲート外で、それ以後は大会本部内で行う。プログラム記載内容および領収証を確認すること。（以後は大会本部へ問い合わせること）
- ◇ 毎朝、顧問または代表者による抽選を行い、抽選番号順に代表（2名以内）の入場、その後に他の部員の入場を行います。早く並んだ順の入場ではありませんので、早朝に会場に来ることのないようにしてください。守れない学校は以後の大会への参加を認めないことがあります。

会場	開門ゲート	抽選実施時間	開門予定
駒 沢	スタンド正面口	7:20～7:40	8:00

- ◇ プログラムの訂正（氏名、ふりがな、学年、所属等）は8時45分または遅くとも競技開始時刻の90分前までに大会本部に申し出ること。記録確定以後の訂正（賞状・記録証の訂正を含む）には、一切応じない。なお、プログラムの記載事項は申込の際に送信されたデータをそのまま使用している。
- ◇ 選手の負傷については、応急処置のみを主催者で行うが、それ以後の責任は負わない。
- ◇ 競技場は全天候舗装のため、スパイクのピンは9mm以下（走高跳、やり投は12mm以下）を使用すること。
- ◇ リレーのスタート用マーク（長さ40cm以内・各ゾーン1カ所のみ）は各チームで用意し、レース終了後は必ず各チームで撤去すること。
- ◇ 盗難防止のため、貴重品は各自で保管し、また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意のこと。

暑熱対策について

- 1) 氷など暑熱対策に必要な物を、各校で必ず準備をしておくこと。
- 2) 中長距離種目については、ゴール付近(B ゲート)において、付添(選手 1 名につき 1 名)によるフィニッシュ後の給水や介添えを認める(レース中の応援は禁止)。介添を行う者は、B ゲート裏に待機し、競技役員の指示に従い行動すること。

本大会は東京陸協「競技会実施時の暑熱対策について」(令和7年7月17日お知らせ)及びスポーツ庁、日本スポーツ協会、日本陸上競技連盟の熱中症予防・暑熱対策の通知

○スポーツ庁「スポーツ活動における熱中症事故の防止について」

○日本スポーツ協会「スポーツ活動中の暑熱対策に関する JSP0 対応方針

○同「スポーツ活動中の熱中症ガイドブック」

○日本陸上競技連盟「主催大会における熱中症対策について」

を参考に暑熱対策をするとともに暑熱対応をいたします。

来場される方へ

- 1) 本大会は、競技者・顧問・マネージャー・学校が認めた関係者および競技役員が入場できる。
- 2) 当日発熱がある場合や体調不良の場合は入場を控えること。入退場ゲートはメインスタンド正面入口のみとする。
- 3) 高校生は、高体連主催競技会で使用しているADカードを使用する。中学生は申し込みのあった学校にフォーマットファイルをメールで送信するので、各学校で必要枚数を印字作成して当日持参すること。当日はホルダーに入れて首から下げるなど、常に見える状態で携帯すること。
- 4) 選手の飲食は参加校の責任においてさせるとともに、ゴミなどは各自必ず持ち帰ること。(競技場及びその周辺、駅などに捨てていけないこと。)
- 5) 場所取りは日毎に抽選で行う。テープや荷物などによる日をまたいでの場所取りはできない。

※ADカードを当日忘れた場合は競技場への入場ができません。ご注意ください。